

# 赤木新聞

AKABUN



チャレンジ

アイデア

## 赤木、スタートラインへ!!

4月に行われました長崎県議会議員選挙におきまして、1万1825人の方々に思いを託して頂きました。4年前は5918票でしたからほぼ2倍となります。長崎のために地道に、時にはメディアにも取り上げられながら活動を行って参りましたが、多くの皆様に支えられ当選することができました。やっとスタートラインに立つことができました。これまでの活動をさらに加速させ、長崎がワクワクする都市となるよう全力で活動して参ります。同時に様々な課題にも真摯に向き合い、解決できるように取り組んで参ります。

公式ホームページでは日々の活動をタイムリーに公開しております。県議会というのはどういう場所なのか、どういう仕事をしているのか、私なりの視点でどんな述べていきます。

県政報告も定期的に行ってまいりますので、どうぞ宜しくお願い致します。



**現役最年少県議**

今回私は34歳で当選させて頂きました。これは現職県議会議員のなかでは最年少となります。長崎県議会議員は各市町区域単位での選挙を経て、46人です。それを議長・副議長を除き、4つの常任委員会、3つの特別委員会等に分割されてそれぞれ専門的に議論を交わしてまいります。また、長崎県として、議員として政党や会派関係なく取り組むべきことについては議員連盟を組み、積極的に課題解決に働きかけるようにしています。また、県議会の会派では政党の枠を超え、「改革21」に所属することとなりました。先輩議員から様々な指導を仰ぐとともに、最年少県議らしく時代の声を届けるよう取り組んで参ります。

- 議席番号2番
- 会派改革21広報事務局長
- 農水経済委員会委員
- 九州新幹線西九州ルート・交通対策特別委員会委員
- 長崎県日中友好議員連盟 幹事
- 長崎県日中友好議員連盟 監査
- 長崎県観光振興議員連盟 幹事
- 赤木の所属・役割**
- 長崎県防衛議員連盟 幹事
- 長崎県拉致問題早期解決議員連盟委員
- 長崎県九州新幹線長崎ルート建設促進議員連盟委員
- 長崎県森林・林業・林産業活性化促進議員連盟委員
- 長崎県拉致問題早期解決議員連盟委員
- 長崎県ASEAN友好議員連盟 委員
- 長崎県IR推進議員連盟 委員
- Vファーレン長崎支援長崎県議会議員
- 長崎県若者未来会議 実行委員
- 長崎県議会野球部 背番号「88」
- 長崎県議会ゴルフ部

## 活動報告



- 新日見トンネル貫通式(動画あり) 1
- 三重地区ペーロン大会 2
- 青少年育成事業@高島 3
- 第5回福山雅治杯 きやあまぐる坂GP2019開催 4
- ながさきみなとまつり2019 5
- 長崎市政問題協議会 (平和マラソンルート動画あり) 6
- 市民大清掃@三重団地 7
- 三重地区連合要望書提出 8
- 長崎県議会 vs 長崎県職員 5番ライトで先発2打数1安打3打点 9
- 長崎県障害者スポーツ大会 10
- 長崎県議会がん検診受診率向上キャンペーン 11
- メーデー挨拶 12
- 高木義明叙勲祝賀会
- 県庁・議会見学会開催
- ベトナムとの交流
- ラオスとの交流

## 視察 & 出張



- 5月~7月
- ① 農水経済委員会視察@東彼杵・島原・雲仙
  - ② 議員研修会@早稲田
  - ③ 議員研修会@広島
  - 九州議員交流会@福岡
  - 長崎県農業大学

## お知らせ

3名以上の方が集まるのであれば長崎県内どこへでも県政報告会や、意見交換をさせていただきます。ご依頼やご要望はメールやSNSでも受け付けておりますのでお気軽にご連絡ください。また、11月21日には県政報告会を予定しております。詳細はHPやSNSでお知らせ致しますので、お気軽にフォローしてください!!



**赤木幸仁 県議会議員事務所 / 後援会事務所**  
 長崎市元船町8-1 あさひやビル201  
 長崎市京泊1-16-24

**www.akagi-yukihito.jp**



### 長崎県から 花粉症をなくす！ 木材を資源へ！

▼赤木：木質バイオマスについて質問します。過去の答弁では、市町と連携しながらバイオマスの収益性について県として分析していくと答弁されておりますが、現時点において収益性はどのようにお考えでしょうか。

▼林政課長：東北での震災以降、固定価格の買い取り制度がございまして、5000キロワット以上で32円、2000キロワット未満で40円。それから間伐材由来以外の一般の木材は24円ということで買取価格が設定されていますので、発電事業の収益性は十分確保されていると思います。それぞれの事業者が求める木材の需要量をいかにその地域で供給できるかが一番の課題と考えています。

▼赤木：収益性が確保できるという答弁と認識致しました。私は長崎は西の端に位置しているという観点からも、花粉症対策を進めることが効果的と考えています。花粉発生源対策促進事業を県として取り組んでおりますが、やはり切りやすい木が優先的に切られ、質が悪い木や伐りにくい木は残ってしまつて考えています。

▼林政課長：ながさき農林業・農山村活性化計画の中では平成37年度に25万立方という目標を掲げておりまして、当然の中にも木質バイオマスが含まれております。平成27年度の実績でいうと、約3割がバイオマス木材だったのですが、それを4%まで高めることを目標に定めて取り組んでいるところでありまして、いい材から最後に残るバイオマス材までしっかりと出していくことが我々の目標でございます。

▼赤木：私は申し上げました通り、長崎だからこそのやらなければならないこと、花粉症で苦しんでいる方はたくさんおりますので、林業の整備、推進をしていかなければならないと考えております。

### 県は種子法条例化考えておらず？ 要綱対応は限界がくる

▼赤木：種子法について質問致します。過去の議事録では県として引き続きしっかり取り組んでいくという認識を私はしておりますが、県として条例化は考えていないということに変わりはございませんか。

▼農産園芸課長：県では、主要農作物種子法の廃止に伴いまして、平成30年3月に長崎県主要農作物種子制度基本運用要綱を制定しまして、米・麦及び大豆の優良で安価な種子の生産供給体制を維持することとしております。また、関連する予算につきましても、国において、令和元年度以降も引き続き地方交付税措置を講じることとされていることから県として条例化の制定は計画しておりません。

▼赤木：わかりました。しっかりと取り組んで頂いていることは大変ありがたいことだと思っております。視点を変えまして、種子法自体は一般の方にはなかなか馴染みがない法律ではございましたが、様々なメディアなどを通して危険性が指摘され、認識されやすくなったと思っております。すでに看板効果がある状態になっているものと考えます。今は約10道県で条例が制定され、他の県においても条例化や請願が採択されるような事態になっております。この条例を制定することによって長崎県は農産物をしっかりと守る県だと認識されると考えております。長崎県は農業が大事な県です。産地で長崎県産が選ばれないという事態になりかねないと危惧しております。こういった観点からも農業に従事されている方の足を引っ張ることがないように検討して頂きたいと申し上げておきます。

### 三重地区臨港道路 (畷刈し時津)の改修開始！ さらに拡充に向けて！

▼赤木：私の地元であります鳴鼓トンネル、臨港道路の整備についてこちらは大変な難いと感じております。しかしながら、こちらの道路は周辺環境ができたところと大変違ってきていると感じております。人口でいいますと、三重地区の人口は臨港道路全線開通したところと比較し、5000人以上住民も増えておりますので、この道路を使う方も大分増えたのではないかと考えています。

▼漁港課長：臨港道路畷刈時津線でございますけれども、これは昭和の終わり、新長崎漁港が開港する当時にできておまして、それからもう30年たつております。約7kmの中には橋梁が5基、トンネルも4か所、鳴鼓トンネルに致しましては2046mという日本の漁港のトンネルで一番長いトンネルを有しております。非常に長い道路でございまして、委員ご指摘の通り、臨港道路とはいえず、一般の方も通る主要な国道・県道に匹敵するような交通量の道路となっております。

▼赤木：私もよく利用する道路でして、通勤・通学の時間帯は普段10分かかる通れる道が2倍3倍とかかかってしまつような時間もあり、それこそ本来の目的である水産物の迅速な搬出というものができない事態に陥っているのでは危惧しております。予算も限られているなかで、難しいというご心配はありますが、まずは綺麗に補修して頂いて、その後様々な検討をしないとイケないと私は認識をしております。また、鳴鼓トンネルから整備されるというご心配、一般の方も使う道路ですから、影響が最小限に抑えられるようにお願い致します。

### 釣った魚が売れる?! 新しいビジネスで 水産県を盛り上げる

▼赤木：遊漁について、長崎県はレジャーとして釣りをされる方はたくさんおりますし、県外からも来ております。ネット上ではよく、釣った魚が売れたというような事業が見取れますが、漁業従事者からみるとそういったものは許し難いものじゃないかと考えております。県としての認識はいかがでしょうか。

▼漁港課長：漁業の中にも自由漁業という漁業がございまして、許可や免許が必要なくてもなたでもできるという種類がございます。釣りはそういう範疇にございまして、制限をかけていくというのはなかなか難しい状況でございます。

▼赤木：ありがとうございます。私は度が過ぎたら今の漁業従事者にとつてすごく困るのではないかと危惧しております。今お答えいただいたように、売る仕組みができてついでに、ビジネスとして成り立つ部分があると考えておりますので、今の漁業従事者とのコラボレーションによって新しいビジネスを長崎県として生み出すことができれば水産県として発展できると考えておりますので、ともに考えていければと思っております。

### 本会議

各会派から12名の方々が登壇し、質問を行いました。この一般質問でよく議論されていたのが人口減少対策、特定複合観光施設(IR)区域整備、九州新幹線西九州ルート of 整備方針、石木ダム建設、諫早湾干拓事業の開門問題など長崎県の重要項目を始め、各地域の道路問題、一次産業、ものづくり、観光、離島振興など幅広い質疑が行われました。私の一般質問は9月議会を予定しております。私を応援して頂いた方々の声や地域、世代の声をしっかりとまとめて臨みたいと考えております。観覧は自由となっておりますので、是非お越しください！

# 議会報告

赤木は、  
農水経済委員会に  
所属しています。



改革21のメンバーとともに

当選後初の定例会が6月17日から7月10日までの日程で行われました。

### 長崎県スタートアップ集積地へ！ 費用対効果をみせるべきだ！

▼赤木：出島交流会館にできたスタートアップ支援施設「CODERJIMA」の活用やこれからについて、完成してから3か月が経ちますが、今の状況についてお聞かせください。また実際に起業された方がいるのか教えてください。

▼新産業創造課長：4月から5月、この2か月で922名の利用となります。セミナー等も継続して開催しており、開館日当たりですと平均して20人程度の人数は確保できている状況です。

起業に至った者がいるかというお尋ねでございますが、残念ながらないのですが、並行しまして県外のスタートアップの方に、この「CODERJIMA」のほかに固定ブースをお借り頂いて、県内の企業とも交流を図りながら事業活動を行っていただきたと考えております。

内に設けておりますが、そのうち3つが埋つており、さらに7月からも1人1社入る予定でございます。

▼赤木：予算をみると、平成30年度は8000万円以上が起業、創業支援のほうで使われています。やはりどれだけ費用対効果があるのかというものを県民の皆さんにわかりやすくお示しすることが大事だと思っております。その数字も是非出して頂きたいです。

福岡市ではスタートアップ支援施設で6000万円くらいの施設管理費で、30億円以上の投資などお金を生み出されていると説明を受けました。そのようなわかりやすい指標を見ることができれば、県民の皆様からももっと長崎でスタートアップ頑張れという声が生み出されると考えております。

ビジネスにはやはりお金が集うところに人が集まります。ベンチャーキャピタル、個人投資家を集わせ、エンジェル税制で個人投資を促す啓発ですとかそのようなことをもつと行つて頂きたいと思っております。